

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和5年度)

調査表

施設名	林業技術センター(研修寮、森の科学館、体験の森、森林植物園、親水広場のみ)
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日(3年間)
県所管部課	環境森林部 山村木材振興課

1 施設利用状況

指標	R5	R4	R3	増減理由等
森の科学館入場者(単位:人)	3,262	3,143	2,202	・自主研修については、高齢者の参加が減少。また遠足の時期が被り、場所の確保が出来ず、やむを得ず断つたため大人数の参加者が減少。 ・県関係研修による利用回数の増加に伴い研修寮利用者が増加。
主催研修参加者(単位:人)	999	699	697	
自主研修受入人数(単位:人)	1,199	1,409	860	
研修寮利用者(単位:人)	607	535	315	
コメント	森の科学館入場者及び主催研修については、昨年度と比較して増加しているものの、自主研修受入人数は若干減少となった。研修寮利用者については、さらなる増加を図るべく、継続してPR活動を行う必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R5	R4	R3	支出	R5	R4	R3
指定管理料	30,400	30,400	30,400	人件費	24,225	24,546	22,853
利用料金収入	599	539	318	報償費	192	200	129
食事代収入	2,024	1,959	1,575	旅費	157	158	112
研修材料代収入	717	717	496	需用費	3,092	3,755	3,039
クリーニング代収入	78	64	38	役務費	896	633	679
雑収入等	67	2	139	原材料費・その他	3,640	3,579	3,374
				租税公課費	2,399	2,316	2,356
				県への利用料金納付額	0	0	0
合計(①)	33,885	33,681	32,966	合計(②)	34,601	35,187	32,542
収支差額(①-②)	-716	-1,506	424				
コメント	2年連続収支差額がマイナスのため、今後も業務内容の効率化による経費削減を進めていく必要がある。						

3 管理運営状況

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	日常清掃(随時)、特別清掃(年1回ワックス)
	保守・点検	遊歩道の点検(月1回)、施設内巡回(月1回以上)
	警備	研修寮使用時夜間巡回(日3回)
	修繕	各種用具の保守・整備(常時)
	備品等管理	備品点検(年1回)
	安全対策	安全・危険管理マニュアル整備、施設内安全点検(月1回)、消防訓練(年1回)、救急救命講習会
	その他	芝刈下刈・除草・剪定・薬剤防除・施肥実施、毎月1回朝会実施
企画運営業務	サービス提供体制整備	職員接遇研修(年1回)、アンケート調査の実施(主催研修)
	イベント等ソフト面充実	年間行事案内(教育施設等各団体への働きかけ)、出前研修による施設活動のPR、HP・マスコミを利用した情報発信
	施設設備等ハード面充実	施設にちなんだクイズ等の設置、樹木名の立て札補修、遊歩道木階段の補修、身障者用トイレの補修
	その他	地域経済配慮(地元雇用、職員・作業員等臨時職員 計11名)
管理運営体制	業務に関する職員研修の実施	
コメント	施設管理等適正に実施されている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	主催研修参加者へのアンケート等	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
スタッフ対応、イベント内容等について評価が高い。		

5 総合評価

評価コメント	研修での丁寧な説明等を心がけるなど、利用者へのサービス向上に努めており、施設利用者へのアンケート調査結果を見ても、利用者の満足度は高いことから、施設管理運営については適正に実施されている。今後とも多くの県民に利用され、喜んでもらえるような施設管理運営が期待される。
今後の課題と対応	平成27年度より県への利用料納付実績がないため、研修寮の稼働日数をあげるため一層のPRを行い、利用者数の増加を図る必要がある。